



ゆざわのまち・ひと・しごと

おらがひと

ふじわら かいと
藤原 魁士さん(皆瀬中学校2年)

横手リトルシニアベースボールチームに所属する藤原魁士さん。昨年12月27日～31日に行われた第19回日台国際野球大会(主会場：台湾嘉義市)において、東北選抜チームの一員として試合に出場しました。

日本からは東北選抜をはじめとした10チームが参加し、それぞれ台湾の10チームと対戦。藤原さんは俊足好打の中堅手として活躍し、東北選抜チームは7勝2敗1分の好成績をおさめました。

さらなる高みを目指して

— 選抜チームに選ばれたときの気持ちを教えてください。

国際大会という貴重な体験ができることがうれしくて、すごくワクワクしました。そして、自分の強みである足の速さを生かし、チームの勝利に貢献したいと思いました。

— 日本の大会との違いはありましたか。

大会は、審判が中国語だったので、戸惑いながら試合をしました。変化球の曲がり方が国内の選手と違うことにも驚きました。

— 自分の力を発揮することはできましたか。

盗塁やランニングホームランなど足を生かすプレーができたと思います。強豪チームとの試合では、相手ピッチャーの変化球をセンター前にはじき



返すことができ、これが同点打になりました。チームの逆転勝利に貢献でき、監督からは「自分が打ったときくらいうれしかった」と言ってもらえました。

— 野球をやっていて楽しいのはどんなときですか。

チームの選手たちと力を合わせて勝利をつかんだときが一番楽しいです。

— 目標にしていることは何ですか。

今回、レベルの高い選手との試合をたくさん経験し、もっと野球がうまくなりたいと思いました。そして、甲子園でプレーすることを目指して頑張りたいと思います。